

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2022年10月7日まで（2012年12月7日設定）	
運用方針	AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの債券等の運用にあたっては、AMP キャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ／AMP オーストラリア・ハイインカム 債券ファンド（毎月決算型）

愛称：カンガルー・ジャンプ



第101期（決算日：2021年5月7日）
 第102期（決算日：2021年6月7日）
 第103期（決算日：2021年7月7日）
 第104期（決算日：2021年8月10日）
 第105期（決算日：2021年9月7日）
 第106期（決算日：2021年10月7日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ／AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）」は、去る10月7日に第106期の決算を行いましたので、法令に基づいて第101期～第106期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率 率	債 先 物 比	券 率 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落					
	円		円		%	%	%	百万円	
77期(2019年5月7日)	7,038		40	△ 1.2	94.6	△2.8		3,371	
78期(2019年6月7日)	6,904		40	△ 1.3	95.8	△1.6		3,273	
79期(2019年7月8日)	6,931		40	1.0	95.3	△4.4		3,303	
80期(2019年8月7日)	6,617		40	△ 4.0	96.2	△2.0		3,139	
81期(2019年9月9日)	6,676		40	1.5	94.8	△0.8		3,144	
82期(2019年10月7日)	6,618		20	△ 0.6	94.1	△1.5		3,116	
83期(2019年11月7日)	6,766		20	2.5	95.6	△1.3		3,063	
84期(2019年12月9日)	6,732		20	△ 0.2	96.7	△1.6		2,980	
85期(2020年1月7日)	6,785		20	1.1	95.2	△2.8		2,935	
86期(2020年2月7日)	6,676		20	△ 1.3	94.5	△3.4		2,855	
87期(2020年3月9日)	6,139		20	△ 7.7	93.5	△5.3		2,602	
88期(2020年4月7日)	5,852		20	△ 4.3	88.5	△0.1		2,425	
89期(2020年5月7日)	5,968		20	2.3	93.0	△2.6		2,456	
90期(2020年6月8日)	6,722		20	13.0	93.9	△0.8		2,747	
91期(2020年7月7日)	6,643		20	△ 0.9	93.9	△2.6		2,696	
92期(2020年8月7日)	6,795		20	2.6	94.9	△1.7		2,758	
93期(2020年9月7日)	6,901		20	1.9	94.1	△1.5		2,774	
94期(2020年10月7日)	6,671		20	△ 3.0	94.6	0.9		2,671	
95期(2020年11月9日)	6,716		20	1.0	93.7	△7.5		2,616	
96期(2020年12月7日)	6,937		20	3.6	94.5	△4.7		2,687	
97期(2021年1月7日)	7,191		20	3.9	93.6	△4.1		2,705	
98期(2021年2月8日)	7,229		20	0.8	94.0	△0.0		2,680	
99期(2021年3月8日)	7,324		20	1.6	95.2	△9.1		2,682	
100期(2021年4月7日)	7,397		20	1.3	94.9	△5.1		2,700	
101期(2021年5月7日)	7,465		20	1.2	93.3	△1.1		2,631	
102期(2021年6月7日)	7,458		20	0.2	94.7	△2.4		2,574	
103期(2021年7月7日)	7,294		10	△ 2.1	93.4	△0.0		2,494	
104期(2021年8月10日)	7,172		10	△ 1.5	92.4	△0.3		2,439	
105期(2021年9月7日)	7,231		10	1.0	93.3	△0.1		2,433	
106期(2021年10月7日)	7,104		10	△ 1.6	91.8	△0.7		2,243	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第101期	(期 首) 2021年4月7日	円 7,397	% —	% —	% 94.9	% △5.1
	4月末	7,473	1.0		93.6	△2.9
	(期 末) 2021年5月7日	7,485	1.2		93.3	△1.1
第102期	(期 首) 2021年5月7日	7,465	—		93.3	△1.1
	5月末	7,449	△0.2		94.4	△1.9
	(期 末) 2021年6月7日	7,478	0.2		94.7	△2.4
第103期	(期 首) 2021年6月7日	7,458	—		94.7	△2.4
	6月末	7,330	△1.7		94.4	△4.7
	(期 末) 2021年7月7日	7,304	△2.1		93.4	△0.0
第104期	(期 首) 2021年7月7日	7,294	—		93.4	△0.0
	7月末	7,189	△1.4		93.0	△0.3
	(期 末) 2021年8月10日	7,182	△1.5		92.4	△0.3
第105期	(期 首) 2021年8月10日	7,172	—		92.4	△0.3
	8月末	7,112	△0.8		93.4	△0.3
	(期 末) 2021年9月7日	7,241	1.0		93.3	△0.1
第106期	(期 首) 2021年9月7日	7,231	—		93.3	△0.1
	9月末	7,075	△2.2		91.6	△3.3
	(期 末) 2021年10月7日	7,114	△1.6		91.8	△0.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

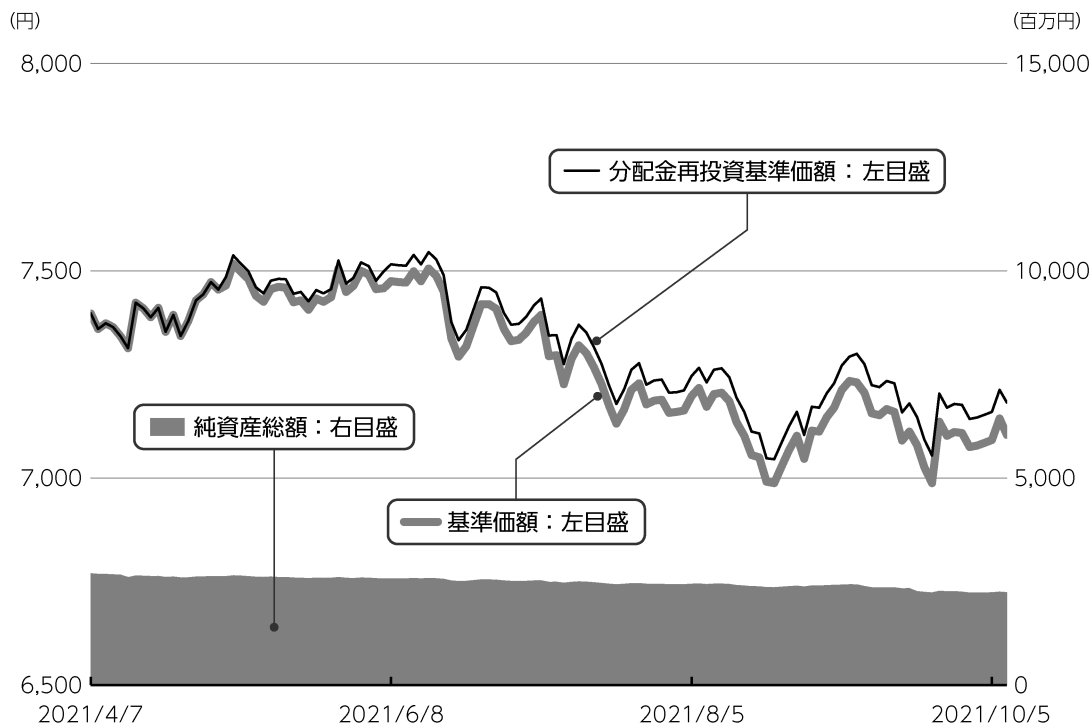
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第101期～第106期：2021年4月8日～2021年10月7日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第101期首	7,397円
第106期末	7,104円
既払分配金	80円
騰落率	-2.9%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

豪州社債市況が上昇したこと等。
債券利子収入を享受したこと等。

下落要因

豪ドルが対円で下落したこと等。
信託報酬等のコスト等。

第101期～第106期：2021年4月8日～2021年10月7日

投資環境について

▶ 債券市況

豪州社債市況は上昇しました。

債券市場では、世界的な新型コロナウイルス変異株の感染拡大に対する懸念や豪州国内の一部においてロックダウン（都市封鎖）の期間が繰り返し延長されたこと等を受けて豪州金利が低下したことや債券利子収入を享受したこと等がプラス要因となり、当作成期を通じてみると同

市場は上昇しました。

▶ 為替市況

豪ドルは対円で下落しました。

豪州国内での新型コロナウイルスの感染拡大等から投資家のリスク回避姿勢が高まったこと等を背景に、豪ドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ／AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）

AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れる運用を行いました。

▶ AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を

高位に組み入れる運用を行いました。豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行っています。

また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。

デュレーションについては、2021年8月末において市場平均と比べて短めとしました。また、債券種別配分については、相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第101期 2021年4月8日～ 2021年5月7日	第102期 2021年5月8日～ 2021年6月7日	第103期 2021年6月8日～ 2021年7月7日	第104期 2021年7月8日～ 2021年8月10日	第105期 2021年8月11日～ 2021年9月7日	第106期 2021年9月8日～ 2021年10月7日
当期分配金 （対基準価額比率）	20 (0.267%)	20 (0.267%)	10 (0.137%)	10 (0.139%)	10 (0.138%)	10 (0.141%)
当期の収益	18	11	9	10	10	8
当期の収益以外	2	8	0	－	－	1
翌期繰越分配対象額	252	243	243	244	249	247

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶三菱UFJ／AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）

AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざす運用を継続します。

▶AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

豪州では、ハイ・イールド市場を含めた社債市場全体で見ると、デフォルト（債

務不履行）率は今後、経済回復に伴い低下することが見込まれます。また、商品価格の上昇等が市場の上昇要因になると考えられます。今後は地政学的リスクの高まり等、想定されるリスク要因をふまえて、米国、豪州の景気動向や金融政策等、豪州社債市況を取り巻く環境を注視しつつ、より慎重な銘柄選択を行っていく方針です。

債券種別については、引き続き相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れる方針です。ファンドのデュレーションについては、債券先物を適宜活用しつつ市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

2021年4月8日～2021年10月7日

1万口当たりの費用明細

項目	第101期～第106期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	56	0.774	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(33)	(0.448)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.304)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.004	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.004)	
(c) その他費用	1	0.018	(c) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.016)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	57	0.796	

作成期中の平均基準価額は、7,283円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

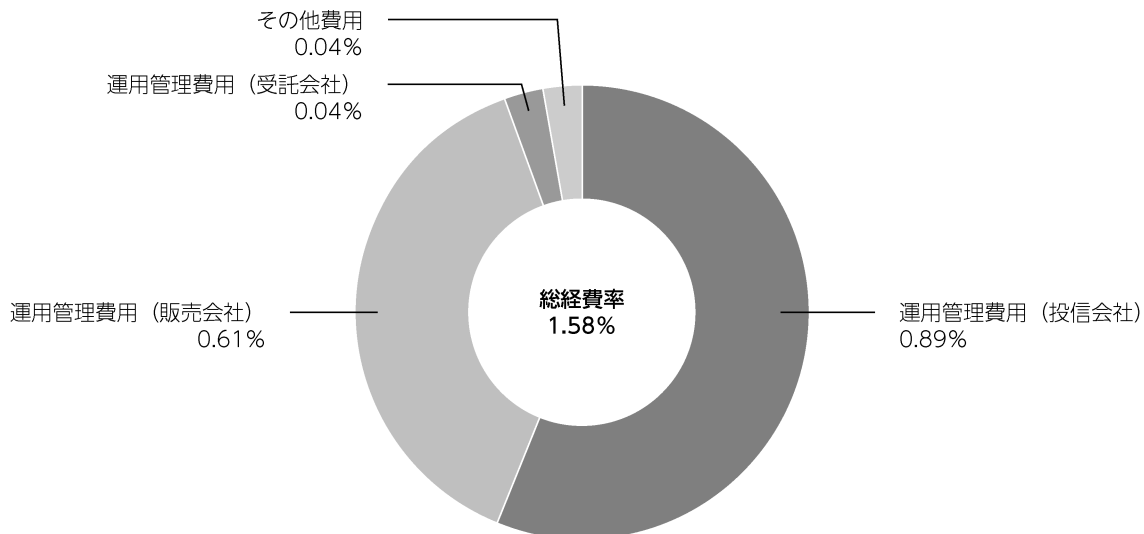
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.58%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年4月8日～2021年10月7日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第101期～第106期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 278,719	千円 408,000

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月8日～2021年10月7日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド>

区 分	第101期～第106期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 7,053	百万円 53	% 0.8	百万円 8,063	百万円 56	% 0.7

平均保有割合 33.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2021年10月7日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第100期末		第106期末	
	口 数		口 数	
				評 価 額
AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	千口 1,826,593	千口 1,547,873	千円 2,235,903	

○投資信託財産の構成

（2021年10月7日現在）

項 目	第106期末	
	評 価 額	比 率
AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	千円 2,235,903	% 99.3
コール・ローン等、その他	14,866	0.7
投資信託財産総額	2,250,769	100.0

(注) AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（6,842,860千円）の投資信託財産総額（6,916,914千円）に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=111.40円	1 オーストラリアドル=81.15円	
------------------	--------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
	2021年5月7日現在	2021年6月7日現在	2021年7月7日現在	2021年8月10日現在	2021年9月7日現在	2021年10月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,641,737,657	2,593,201,148	2,505,373,072	2,446,613,126	2,439,434,120	2,250,769,939
コール・ローン等	26,270,569	28,930,367	16,713,501	17,519,089	10,622,507	14,866,117
AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド(附録)	2,615,467,088	2,564,270,781	2,488,659,571	2,429,094,037	2,428,811,613	2,235,903,822
(B) 負債	10,504,701	18,260,592	10,460,318	6,953,571	6,217,449	7,101,442
未払収益分配金	7,049,672	6,905,364	3,420,493	3,401,427	3,365,172	3,158,457
未払解約金	104,622	7,936,557	3,804,704	12,701	—	1,032,121
未払信託報酬	3,340,387	3,408,433	3,225,438	3,528,857	2,843,753	2,902,165
未払利息	7	21	17	12	2	4
その他未払費用	10,013	10,217	9,666	10,574	8,522	8,695
(C) 純資産総額(A-B)	2,631,232,956	2,574,940,556	2,494,912,754	2,439,659,555	2,433,216,671	2,243,668,497
元本	3,524,836,309	3,452,682,168	3,420,493,622	3,401,427,780	3,365,172,934	3,158,457,232
次期繰越損益金	△ 893,603,353	△ 877,741,612	△ 925,580,868	△ 961,768,225	△ 931,956,263	△ 914,788,735
(D) 受益権総口数	3,524,836,309口	3,452,682,168口	3,420,493,622口	3,401,427,780口	3,365,172,934口	3,158,457,232口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,465円	7,458円	7,294円	7,172円	7,231円	7,104円

○損益の状況

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2021年4月8日～ 2021年5月7日	2021年5月8日～ 2021年6月7日	2021年6月8日～ 2021年7月7日	2021年7月8日～ 2021年8月10日	2021年8月11日～ 2021年9月7日	2021年9月8日～ 2021年10月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 105	△ 270	△ 284	△ 562	△ 430	△ 118
受取利息	—	—	—	14	17	3
支払利息	△ 105	△ 270	△ 284	△ 576	△ 447	△ 121
(B) 有価証券売買損益	34,390,351	7,894,245	△ 49,364,289	△ 34,369,404	25,802,979	△ 34,004,687
売買益	35,113,754	7,948,492	238,596	186,813	25,819,856	1,831,861
売買損	△ 723,403	△ 54,247	△ 49,602,885	△ 34,556,217	△ 16,877	△ 35,836,548
(C) 信託報酬等	△ 3,350,400	△ 3,418,650	△ 3,235,104	△ 3,539,431	△ 2,852,275	△ 2,910,860
(D) 当期損益金 (A + B + C)	31,039,846	4,475,325	△ 52,599,677	△ 37,909,397	22,950,274	△ 36,915,665
(E) 前期繰越損益金	△ 452,345,612	△ 418,510,509	△ 413,817,920	△ 466,390,113	△ 501,717,183	△ 452,298,668
(F) 追加信託差損益金	△ 465,247,915	△ 456,801,064	△ 455,742,778	△ 454,067,288	△ 449,824,182	△ 422,415,945
(配当等相当額)	(89,252,809)	(86,741,897)	(83,202,240)	(82,744,394)	(81,871,315)	(76,846,872)
(売買損益相当額)	(△ 554,500,724)	(△ 543,542,961)	(△ 538,945,018)	(△ 536,811,682)	(△ 531,695,497)	(△ 499,262,817)
(G) 計 (D + E + F)	△ 886,553,681	△ 870,836,248	△ 922,160,375	△ 958,366,798	△ 928,591,091	△ 911,630,278
(H) 収益分配金	△ 7,049,672	△ 6,905,364	△ 3,420,493	△ 3,401,427	△ 3,365,172	△ 3,158,457
次期繰越損益金 (G + H)	△ 893,603,353	△ 877,741,612	△ 925,580,868	△ 961,768,225	△ 931,956,263	△ 914,788,735
追加信託差損益金	△ 465,952,882	△ 459,563,210	△ 455,742,778	△ 454,067,288	△ 449,824,182	△ 422,415,945
(配当等相当額)	(88,554,408)	(83,984,963)	(83,207,924)	(82,753,023)	(81,875,602)	(76,847,811)
(売買損益相当額)	(△ 554,507,290)	(△ 543,548,173)	(△ 538,950,702)	(△ 536,820,311)	(△ 531,699,784)	(△ 499,263,756)
分配準備積立金	284,397	225,828	164,375	316,670	2,012,736	1,326,698
繰越損益金	△ 427,934,868	△ 418,404,230	△ 470,002,465	△ 508,017,607	△ 484,144,817	△ 493,699,488

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 3,651,065,785円
 作成期中追加設定元本額 22,818,070円
 作成期中一部解約元本額 515,426,623円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7104円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は914,788,735円です。

③分配金の計算過程

項 目	2021年4月8日～ 2021年5月7日	2021年5月8日～ 2021年6月7日	2021年6月8日～ 2021年7月7日	2021年7月8日～ 2021年8月10日	2021年8月11日～ 2021年9月7日	2021年9月8日～ 2021年10月7日
費用控除後の配当等収益額	6,388,485円	4,090,726円	3,361,395円	3,554,929円	5,064,970円	2,596,965円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	89,259,375円	86,747,109円	83,207,924円	82,753,023円	81,875,602円	76,847,811円
分配準備積立金額	240,617円	278,320円	223,473円	163,168円	312,938円	1,888,190円
当ファンドの分配対象収益額	95,888,477円	91,116,155円	86,792,792円	86,471,120円	87,253,510円	81,332,966円
1万口当たり収益分配対象額	272円	263円	253円	254円	259円	257円
1万口当たり分配金額	20円	20円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	7,049,672円	6,905,364円	3,420,493円	3,401,427円	3,365,172円	3,158,457円

④「AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
1万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

当ファンドは信託約款に基づき、2022年10月7日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。

AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

《第9期》決算日2021年10月7日

〔計算期間：2020年10月8日～2021年10月7日〕

「AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」は、10月7日に第9期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 債券等への投資にあたっては、高水準のインカム収入を確保しつつ、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業績分析等の信用リスク分析に基づき割安度を評価し、銘柄選定を行います。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。また、ファンドの流動性等を勘案して、一部、国債等に投資する場合があります。 オーストラリアドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にオーストラリアドル建てとなるように外国為替予約取引等を行います。 債券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
5期(2017年10月10日)	13,013		14.9	96.8	△8.5	5,308
6期(2018年10月9日)	12,344	△	5.1	95.6	△3.8	8,179
7期(2019年10月7日)	12,226	△	1.0	94.7	△1.5	9,525
8期(2020年10月7日)	12,985		6.2	95.6	0.9	8,444
9期(2021年10月7日)	14,445		11.2	92.1	△0.7	6,838

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2020年10月7日	円 12,985	% —	% 95.6	% —	% 0.9
10月末	12,813	△ 1.3	95.4	—	△6.8
11月末	13,533	4.2	94.9	—	△5.9
12月末	13,928	7.3	94.2	—	△5.7
2021年1月末	14,180	9.2	94.5	—	△1.1
2月末	14,604	12.5	95.0	—	△5.1
3月末	14,762	13.7	94.6	—	△6.7
4月末	14,933	15.0	94.5	—	△3.0
5月末	14,944	15.1	94.8	—	△1.9
6月末	14,765	13.7	95.2	—	△4.7
7月末	14,517	11.8	93.6	—	△0.3
8月末	14,400	10.9	94.1	—	△0.3
9月末	14,362	10.6	92.1	—	△3.4
(期 末) 2021年10月7日	14,445	11.2	92.1	—	△0.7

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・豪州社債市況が上昇したこと等。
- ・債券利子収入を享受したこと等。

●投資環境について

◎債券市況

- ・豪州社債市況は上昇しました。
- ・債券市場では、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展期待等を受けてスプレッド（国債との利回り格差）が縮小したことや債券利子収入を享受したこと等がプラス要因となり、当期を通じてみると同市場は上昇しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは対円で上昇しました。
- ・商品市況が堅調だったこと等から、豪ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行っています。
- ・また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。
- ・デュレーションについては、2021年8月末において市場平均と比べて短めとしました。また、債券種別配分については、相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れました。

○今後の運用方針

- ・豪州では、ハイ・イールド市場を含めた社債市場全体で見ると、デフォルト（債務不履行）率は今後、経済回復に伴い低下することが見込まれます。また、商品価格の上昇等が市場の上昇要因になると考えられます。今後は地政学的リスクの高まり等、想定されるリスク要因をふまえて、米国、豪州の景気動向や金融政策等、豪州社債市況を取り巻く環境を注視しつつ、より慎重な銘柄選択を行っていく方針です。
- ・債券種別については、引き続き相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れる方針です。ファンドのデュレーションについては、債券先物を適宜活用しつつ市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年10月8日～2021年10月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 1 (1)	% 0.008 (0.008)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.029 (0.029) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	5	0.037	
期中の平均基準価額は、14,310円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年10月8日～2021年10月7日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル —	千アメリカドル 1,067 (4,620)
	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル 1,498	千オーストラリアドル —
		社債券	24,526	46,586 (1,500)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 債券先物取引	百万円 6,864	百万円 7,725	百万円 8,995	百万円 9,783

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月8日～2021年10月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 15,613	百万円 53	% 0.3	百万円 18,122	百万円 731	% 4.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年10月7日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
アメリカ	千アメリカドル 3,865	千アメリカドル 4,182	千円 465,921	% 6.8	% —	% 3.3	% 3.5	% —
オーストラリア	千オーストラリアドル 69,297	千オーストラリアドル 71,856	5,831,122	85.3	0.3	56.9	20.8	7.6
合 計	—	—	6,297,044	92.1	0.3	60.2	24.3	7.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利 率	当 期 末			償還年月日
			額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	社債券					
	3.65 WOODSIDE FI 250305	3.65	925	983	109,601	2025/3/5
	4.2 APT PIPELIN 250323	4.2	400	435	48,476	2025/3/23
	4.375 SCENTRE GRO 300528	4.375	90	103	11,570	2030/5/28
	4.5 TRANSURBAN QL 280419	4.5	200	224	25,006	2028/4/19
	4.75 PACIFIC NATI 280322	4.75	600	649	72,301	2028/3/22
	4.875 MACQUARIE B 250610	4.875	650	719	80,185	2025/6/10
	FRN SCENTRE GRO 800924	4.75	1,000	1,066	118,780	2080/9/24
小	計				465,921	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	特殊債券					
	1 NBN CO LTD 251203	1.0	1,500	1,475	119,701	2025/12/3
	2.2 AIRSERV AUST 300515	2.2	500	510	41,417	2030/5/15
	社債券					
	1.814 AUSGRID FIN 270205	1.814	1,300	1,277	103,662	2027/2/5
	1.843 SGSP AUSTR 280915	1.843	500	490	39,817	2028/9/15
	1.9 DWP FINANCE 280804	1.9	700	685	55,658	2028/8/4
	2.119 AGI FINANCE 270624	2.119	1,400	1,399	113,601	2027/6/24
	2.25 MACQUARIE UN 300522	2.25	500	500	40,603	2030/5/22
	2.317 CHARTER HAL 300925	2.317	500	486	39,471	2030/9/25
	2.4 VER FINCO PTY 280921	2.4	500	493	40,027	2028/9/21
	2.45 SHOPPING CT 290924	2.45	900	879	71,375	2029/9/24
	2.4737 ELECTRANET 281215	2.4737	500	494	40,161	2028/12/15
	2.525 GPT WHL OFF 260112	2.525	1,000	1,044	84,730	2026/1/12
	2.6 AUSNET SERV 290731	2.6	500	505	41,010	2029/7/31
	2.6 MIRVAC GROUP 290918	2.6	500	507	41,158	2029/9/18
	2.656 CHARTER HAL 291217	2.656	600	589	47,854	2029/12/17
	2.7 WSO FINANCE P 300628	2.7	500	505	40,990	2030/6/28
	2.75 WOOLWORTHS G 311115	2.75	700	697	56,615	2031/11/15
	2.849 GPT WHL OFF 320220	2.849	1,000	999	81,111	2032/2/20
	2.85 LLITST FINAN 300628	2.85	600	592	48,104	2030/6/28
	2.9 AURIZON NETWO 300902	2.9	1,000	980	79,553	2030/9/2
	3 AURIZON FINANCE 280309	3.0	500	495	40,185	2028/3/9
	3 DEXUS FINANCE P 320203	3.0	500	506	41,079	2032/2/3
	3 EDITH COWAN UNI 290411	3.0	450	473	38,404	2029/4/11
	3.1 AUST & NZ B 240208	3.1	500	529	42,954	2024/2/8
	3.15 QANTAS AIRWA 280927	3.15	500	491	39,893	2028/9/27
	3.15 WESTCONNEX F 310331	3.15	1,100	1,102	89,471	2031/3/31
	3.2 COMMONWEALT 230816	3.2	2,500	2,630	213,426	2023/8/16
	3.25 COMMONWEALT 230425	3.25	1,500	1,567	127,240	2023/4/25
	3.25 TRANSURBAN Q 310805	3.25	500	507	41,153	2031/8/5
	3.591 GPT WHL OFF 231107	3.591	600	631	51,253	2023/11/7
	3.6725 GPT WHL OF 240919	3.6725	600	642	52,162	2024/9/19
	3.7 AUSTRALIAN CA 270803	3.7	500	538	43,726	2027/8/3
	3.7 DOWNER GROUP 260429	3.7	500	537	43,586	2026/4/29
	3.75 AUSTRALIAN P 240522	3.75	500	516	41,877	2024/5/22
	3.75 TRANSURBAN Q 231012	3.75	1,100	1,154	93,700	2023/10/12

AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

銘柄	銘柄	利率	当期末			償還年月日
			額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	社債券					
	3.85 UNITED ENERG 241023	3.85	2,100	2,283	185,292	2024/10/23
	3.9 BRISBANE AIRP 250424	3.9	1,250	1,338	108,647	2025/4/24
	3.9 SHOPPING CT 240607	3.9	1,500	1,606	130,354	2024/6/7
	4 AURIZON NETWORK 240621	4.0	1,000	1,068	86,679	2024/6/21
	4 CALTEX AUSTRALI 250417	4.0	1,300	1,407	114,194	2025/4/17
	4.2 AUSNET SERV 280821	4.2	500	564	45,787	2028/8/21
	4.225 DBNGP FINAN 250528	4.225	1,000	1,093	88,722	2025/5/28
	4.3 INCITEC PIVOT 260318	4.3	1,000	1,089	88,448	2026/3/18
	4.5 BRISBANE AIRP 301230	4.5	500	550	44,694	2030/12/30
	4.5 WSO FINANCE P 270331	4.5	1,200	1,368	111,031	2027/3/31
	4.75 QANTAS AIRWA 261012	4.75	500	550	44,681	2026/10/12
	5.25 PACIFIC NATI 250519	5.25	1,000	1,102	89,493	2025/5/19
	5.25 QANTAS AIRWA 300909	5.25	1,000	1,103	89,567	2030/9/9
	7.75 QANTAS AIRWA 220519	7.75	2,100	2,189	177,659	2022/5/19
	FRN AMPOL LTD 801209	3.6104	600	627	50,897	2080/12/9
	FRN AUSNET SERV 801006	3.115	1,200	1,227	99,598	2080/10/6
	FRN AUST & NZ B 290726	2.025	1,400	1,441	116,943	2029/7/26
	FRN AUST & NZ B 310226	1.8634	1,200	1,231	99,912	2031/2/26
	FRN BENDIGO AND 301119	1.9623	500	510	41,449	2030/11/19
	FRN COMMONWEALT 300910	1.813	2,500	2,563	208,055	2030/9/10
	FRN COMMONWEALT 310820	1.33	600	601	48,848	2031/8/20
	FRN CROWN LTD PLA 700423	4.0107	287	247	20,077	2075/4/23
	FRN MACQUARIE B 300528	2.9116	1,200	1,267	102,845	2030/5/28
	FRN MACQUARIE B 310617	1.5635	600	602	48,928	2031/6/17
	FRN NATIONAL A 290517	2.1643	2,000	2,064	167,498	2029/5/17
	FRN NATIONAL A 301118	1.71	1,600	1,631	132,389	2030/11/18
	FRN NATIONAL A 311118	3.225	550	570	46,284	2031/11/18
	FRN SUNCORP-MET 281205	2.162	1,600	1,643	133,390	2028/12/5
	FRN SUNCORP-MET 421006	3.215	1,000	1,022	82,981	2042/10/6
	FRN WESTPAC BAN 280614	4.8	1,900	2,017	163,707	2028/6/14
	FRN WESTPAC BAN 290816	4.334	1,800	1,939	157,363	2029/8/16
	FRN WESTPAC BAN 290827	1.99	900	926	75,174	2029/8/27
	VAR AUST & NZ B 270513	4.75	2,900	2,971	241,134	2027/5/13
	VAR WESTPAC BAN 270311	4.5	1,960	1,991	161,640	2027/3/11
	小計				5,831,122	
	合計				6,297,044	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当 期	
			買 建 額	売 建 額
外 国	債券先物取引	NOTE5Y	—	383
		NOTE10Y	—	102
		ULTR10Y 2112	—	113
		AUST5YR 2112	213	—
		AUST10Y	602	—
		AUST3Y	—	264

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2021年10月7日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 6,297,044	% 91.0
コール・ローン等、その他	619,870	9.0
投資信託財産総額	6,916,914	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (6,842,860千円) の投資信託財産総額 (6,916,914千円) に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=111.40円	1 オーストラリアドル=81.15円	
------------------	--------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年10月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,743,413,767
コール・ローン等	381,600,998
公社債(評価額)	6,297,044,091
未収入金	834,090,429
未収利息	50,340,965
差入委託証拠金	180,337,284
(B) 負債	904,767,956
未払金	847,627,941
未払解約金	57,140,000
未払利息	15
(C) 純資産総額(A-B)	6,838,645,811
元本	4,734,109,848
次期繰越損益金	2,104,535,963
(D) 受益権総口数	4,734,109,848口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,445円

<注記事項>

- ①期首元本額 6,503,053,588円
 期中追加設定元本額 406,698,781円
 期中一部解約元本額 2,175,642,521円
 また、1口当たり純資産額は、期末14,445円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	3,168,177,929円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)	1,547,873,882円
オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	18,058,037円
合計	4,734,109,848円

○損益の状況 (2020年10月8日～2021年10月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	254,869,833
受取利息	257,112,745
その他収益金	121,725
支払利息	△ 2,364,637
(B) 有価証券売買損益	685,239,212
売買益	805,869,723
売買損	△ 120,630,511
(C) 先物取引等取引損益	△ 19,846,614
取引益	81,441,726
取引損	△ 101,288,340
(D) 保管費用等	△ 2,284,772
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	917,977,659
(F) 前期繰越損益金	1,941,154,564
(G) 追加信託差損益金	154,161,219
(H) 解約差損益金	△ 908,757,479
(I) 計(E+F+G+H)	2,104,535,963
次期繰越損益金(I)	2,104,535,963

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。